

## 広域連携優良苗木確保対策費（拡充）

【平成21年度予算額 68,329（61,942）千円】

### 事業のポイント

花粉症対策苗木の供給量の増大を図るため、新たな挿し木生産（マイクロカッティング）の導入に必要な条件整備を進めます。

また、苗木生産における育苗作業の省力化を図るための取り組みを支援します。

- ・ 少花粉スギ苗木の供給量は、11万本（18年度）でスギ苗木全体の（約1,500万本）の1％未満に過ぎず、花粉発生源対策として、少花粉スギ苗木の供給量の増大を図ることが急務な課題となっています。
- ・ 苗木生産の安定的な供給を担う苗木生産者の体質強化や、森林所有者等の少花粉スギ苗木等の需要増加につながる魅力ある苗木づくりが喫緊の課題となっています。

### 政策目標

少花粉スギ苗木等の供給量を平成24年度にはおおむね100万本、平成29年度にはおおむね1,000万本に増大します。

#### <内容>

##### 1. 優良種苗の需給の安定

都道府県間での苗木や種子等の需給バランスを確保するための指導・調整などを行うとともに、苗木の生産計画のための苗畑調査を実施します。

##### 2. 花粉症対策苗木の供給の加速化のためのモデル事業の実施

花粉症対策苗木の供給を大きく加速することを可能とする、新しい挿し木生産技術（挿し穂を採穂園に頼らず、苗木から直接採穂する）の普及を図るためのモデル事業を実施します。

##### 3. マイクロカッティングによる挿し木苗生産を促進

花粉症対策苗木の供給量の増大を図るため、新たな挿し木生産（マイクロカッティング）の導入を支援します。

##### 4. 先駆的な苗木生産の取り組み支援

多様な樹種について、苗木生産における育苗作業を省力化するための新たなコンテナ利用や、苗木の上長生長を促し育成期間を短縮した育苗技術等による苗木生産の先駆的な取り組みを支援するとともに、当該技術を普及するために研修会等を行います。

#### <補助率>

定額

#### <事業実施主体>

民間団体

#### <事業実施期間>

平成19年度～23年度（5年間）

【担当課：林野庁研究・保全課】